

—道德 1—

「特別の教科 道徳」の目標について

【教科の目標】

小学校学習指導要領第1章総則の第1の2の(2)に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

【各学年の内容項目】

	第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
A 主として自分自身に関すること			
〔善悪の判断、自律、自由と責任〕	○	○	○
〔正直、誠実〕	○	○	○
〔節度、節制〕	○	○	○
〔個性の伸長〕	○	○	○
〔希望と勇気、努力と強い意志〕	○	○	○
〔真理の探究〕			○
B 主として人との関わりに関すること			
〔親切、思いやり〕	○	○	○
〔感謝〕	○	○	○
〔礼儀〕	○	○	○
〔友情、信頼〕	○	○	○
〔相互理解、寛容〕		○	○
C 主として集団や社会との関わりに関すること			
〔規則の尊重〕	○	○	○
〔公正、公平、社会正義〕	○	○	○
〔勤労、公共の精神〕	○	○	○
〔家族愛、家庭生活の充実〕	○	○	○
〔よりよい学校生活、集団生活の充実〕	○	○	○
〔伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度〕	○	○	○
〔国際理解、国際親善〕	○	○	○
D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること			
〔生命の尊さ〕	○	○	○
〔自然愛護〕	○	○	○
〔感動、畏敬の念〕	○	○	○
〔よりよく生きる喜び〕			○

【参考】

○ 目標の改善

道徳教育の目標と道徳科の目標を、各々の役割と関連性を明確にするため、道徳科の目標を「よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う」として、学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の目標と同一であることが分かりやすい表現にするとともに、従前、道徳の時間の目標に定めていた「各教科等との密接な関連」や「計画的、発展的な指導による補充、深化、統合」は、「第3 指導計画の作成と内容の取扱い」に整理した上で、表現を改めた。

また、道徳的価値について自分との関わりも含めて理解し、それに基づいて内省し、多面的・多角的に考え、判断する能力、道徳的心情、道徳的行為を行うための意欲や態度を育てるという趣旨を明確化するため、従前の「道徳的価値の自覚及び自己の生き方についての考えを深めることを、学習活動を具体化して「道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習」と改めた。

さらに、これらを通じて、よりよく生きていくための資質・能力を培うという趣旨を明確化するため、従前の「道徳的实践力を育成する」ことを、具体的に、「道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる」と改めた。

○ 標準授業時数

第1学年－34 単位時間

第2学年－35 単位時間

第3学年－35 単位時間

第4学年－35 単位時間

第5学年－35 単位時間

第6学年－35 単位時間

様式 3

番 号 観 点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教 科 書 名
	2・東書	第1学年 第2学年 第3学年 第4学年 第5学年 第6学年	道徳・112 道徳・212 道徳・312 道徳・412 道徳・512 道徳・612	新編 あたらしい どうとく 1 新編 新しい どうとく 2 新編 新しいどうとく 3 新編 新しいどうとく 4 新編 新しい道徳 5 新編 新しい道徳 6
取 扱 内 容 〔 学 習 指 導 要 領 の 総 則 及 び 各 教 科 、 各 学 年 の 目 標 、 内 容 等 〕 、 内 容 の 構 成 ・ 排 列	○ 生命の尊厳については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 自身の誕生に対する周囲の喜びなどを基に、生きることのすばらしさを知り、生命を大切にすることについて考える活動 第2学年～ 食物連鎖などを基に、生きることのすばらしさを知り、生命を大切にすることについて考える活動 第3学年～ 重い病気を患っている子どもをもつ親の生き方などを基に、生命の尊さを知り、生命あるものを大切にすることについて考える活動 第4学年～ 健康でいることへの喜びなどを基に、生命の尊さを知り、生命あるものを大切にすることについて考える活動 第5学年～ 病気で命を失った子どもの話などを基に、生命はつながりの中にあるかけがえないものであり、生命を尊重することの大切さについて考える活動 第6学年～ 病気で命を失った子どもの話などを基に、生命はつながりの中にあるかけがえないものであり、生命を尊重することの大切さについて考える活動 ○ 自然については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 季節の移り変わりに伴う草木の変化などを基に、身近な自然や動植物に優しい心で接することの大切さについて考える活動 第2学年～ 公園にいる生きものとのふれあいなどを基に、身近な自然や動植物に優しい心で接することの大切さについて考える活動 第3学年～ 身近な動物に対し、大切にしたいことなどを基に、自然のすばらしさや不思議さを感じ取り、自然や動植物を大切にすることについて考える活動 第4学年～ フクロウの観察などを基に、自然のすばらしさや不思議さを感じ取り、自然や動植物を大切にすることについて考える活動 第5学年～ イルカの保護活動などを基に、自然の偉大さを知り、自然環境を大切にすることについて考える活動 第6学年～ 外来種の問題などを基に、自然の偉大さを知り、自然環境を大切にすることについて考える活動 ○ 伝統と文化については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 他国から来た食べ物などを基に、我が国や郷土の文化と生活に親しみ、愛着をもつことの大切さについて考える活動 第2学年～ 通学路における四季の移ろいなどを基に、我が国や郷土の文化と生活に親しみ、愛着をもつことの大切さについて考える活動 第3学年～ 自治体のイメージキャラクターなどを基に、我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、国や郷土を愛する心をもつことの大切さについて考える活動 第4学年～ ふろしきの使い方などを基に、我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、国や郷土を愛する心をもつことの大切さについて考える活動 第5学年～ 正月料理などを基に、我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、先人の努力を知り、国や郷土を愛する心をもつことの大切さについて考える活動 第6学年～ 坂本龍馬の生き方などを基に、我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、先人の努力を知り、国や郷土を愛する心をもつことの大切さについて考える活動 ○ 情報化への対応については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ I C T端末の正しい使い方を扱い、使い方のルールを守るためには、どのようなことが大切なのかを考える活動 第2学年～ I C T端末に係る依存症を扱い、使いすぎないようにするためには、どのよ			

	うなことが大切なのかを考える活動 第3学年～ 著作権を侵害する場面を扱い、情報を発信する際のきまりを守るためには、どのようなことが大切なのかを考える活動 第4学年～ オンラインゲームで遊ぶ場面を扱い、友人と楽しく遊ぶためには、どのようなことが大切なのかを考える活動 第5学年～ ネットで動画を共有する場面を扱い、発信する情報に責任をもつためには、どのようなことが大切なのかを考える活動 第6学年～ インフォデミックが起こった場面を扱い、情報社会で差別が起きないようにするためには、どのようなことが大切なのかを考える活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 「おうだんはどうで」において、登場人物と同じようにお辞儀をしたり、やってみてどう思ったのかを友達と話し合ったりするなど、グループでの話し合いや役割演技を通して、考えを広げたり、深めたりする活動 第2学年～ 「いそいでいても」において、登場人物になって、挨拶をしてみたり、やってみてどう思ったのかを友達と話し合ったりするなど、グループでの話し合いや役割演技を通して、考えを広げたり、深めたりする活動 第3学年～ 「SL公園で」において、登場人物の行動の問題点について考えたり、将来の自分に向けてメッセージを送ったりするなど、考えを広げたり、深めたりする活動 第4学年～ 「大きな絵はがき」において、登場人物の悩みについて考えたり、自分が友達関係で生かしたいことを考えたりするなど、考えを広げたり、深めたりする活動 第5学年～ 「駅前広場は自転車置き場？」において、「子ども会の参加者」として、提案について話し合ったり、きまりが守られる社会にするために必要な心構えについて考えたりするなど、考えを広げたり、深めたりする活動 第6学年～ 「修学旅行の夜」において、自由と自分勝手の違いは何かについて考えたり、自由ではなく自分勝手だったことはないか自分を振り返ったりするなど、考えを広げたり、深めたりする活動 ○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 ・言語活動については、各学年に、自分の考えを可視化し、友達と考えを比べ、多様な感じ方や考え方があることに気付くことができる「考えるためのツール」を配置し、児童が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができる工夫 ・問題解決的な学習については、各学年に、道徳的価値に根差した問題を見付け、多面的・多角的に考えながら話し合う学習指導過程の提案として、「問題を見つけて考えよう」を配置し、自分との関わりで道徳的価値を捉え、自分なりに発展させていくことへの思いや課題が培われるような工夫 ・体験的な学習については、各学年に、「演じて考えよう（役割演技）」や「やってみて考えよう（動作化）」を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるような工夫
使用上の配慮等	○ 各学年に、道徳科の授業で養われる道徳性をイメージしながら学習に取り組めるように、「心のちから」や成長を実感できる「学習の記録」を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 各学年に、「どんな学びをするのかな？」や自分の考えを可視化し、話し合い活動を促すためのツールを配置し、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての児童が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントやカラーユニバーサルデザインに配慮する（全学年）とともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、「コンピュータで学びを広げよう」を活用できるようにする（全学年）など、使用上の便宜が図られている。
その他	※ 小学校用教科書目録（令和6年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

様式 3

番号 観 点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	17・教出	第1学年 第2学年 第3学年 第4学年 第5学年 第6学年	道徳・113 道徳・213 道徳・313 道徳・413 道徳・513 道徳・613	しょうがくどうとく1 はばたこうあすへ 小学どうとく2 はばたこう明日へ 小学どうとく3 はばたこう明日へ 小学道徳4 はばたこう明日へ 小学道徳5 はばたこう明日へ 小学道徳6 はばたこう明日へ
取扱内容 〔学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等〕、 内容の構成・ 排列	○ 生命の尊厳については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ お母さんのお腹の中での命のはじまりなどを基に、生きることのすばらしさを知り、生命を大切にすることについて考える活動 第2学年～ お腹の中に赤ちゃんがいるおばさんとの交流を基に、生きることのすばらしさを知り、生命を大切にすることについて考える活動 第3学年～ 重い病気を患っている子どもの生き方などを基に、生命の尊さを知り、生命あるものを大切にすることについて考える活動 第4学年～ 院内学級の児童が書いた「命」の詩などを基に、生命の尊さを知り、生命あるものを大切にすることについて考える活動 第5学年～ 病気で命を失った兄弟の話などを基に、生命はつながりの中にあるかけがえのないものであり、生命を尊重することの大切さについて考える活動 第6学年～ 院内学級の教師の思いなどを基に、生命はつながりの中にあるかけがえのないものであり、生命を尊重することの大切さについて考える活動 ○ 自然については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 自然の中での遊びの経験などを基に、身近な自然や動植物に優しい心で接することの大切さについて考える活動 第2学年～ 生き物と関わる時に気を付けることなどを基に、身近な自然や動植物に優しい心で接することの大切さについて考える活動 第3学年～ 動物園の飼育員の行動などを基に、自然のすばらしさや不思議さを感じ取り、自然や動植物を大切にすることについて考える活動 第4学年～ 世界自然遺産などを基に、自然のすばらしさや不思議さを感じ取り、自然や動植物を大切にすることについて考える活動 第5学年～ 自然保護活動などを基に、自然の偉大さを知り、自然環境を大切にすることについて考える活動 第6学年～ プラスチックごみの問題などを基に、自然の偉大さを知り、自然環境を大切にすることについて考える活動 ○ 伝統と文化については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 昔から伝わる日本の行事などを基に、我が国や郷土の文化と生活に親しみ、愛着をもつことの大切さについて考える活動 第2学年～ 生まれ育ったふるさとなどを基に、我が国や郷土の文化と生活に親しみ、愛着をもつことの大切さについて考える活動 第3学年～ 地域に伝わる祭りや行事などを基に、我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、国や郷土を愛する心をもつことの大切さについて考える活動 第4学年～ 日本や地域の伝統の食べ物などを基に、我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、国や郷土を愛する心をもつことの大切さについて考える活動 第5学年～ 伝統的工芸品などを基に、我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、先人の努力を知り、国や郷土を愛する心をもつことの大切さについて考える活動 第6学年～ 松浦武四郎の生き方などを基に、我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、先人の努力を知り、国や郷土を愛する心をもつことの大切さについて考える活動 ○ 情報化への対応については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 掲示板で友達に伝える場面を扱い、嘘を伝えて、困らせないためには、どのようなことが大切なのかを考える活動 第2学年～ インターホンでアンケートを受ける場面を扱い、安全に気を付けて毎日の生			

	活を送るためには、どのようなことが大切なのかを考える活動 第3学年～ 新聞づくりの場面を扱い、情報を発信する際のきまりを守るためには、どのようなことが大切なのかを考える活動 第4学年～ インターネットでプレゼントの応募をする場面を扱い、自分の情報を守るためには、どのようなことが大切なのかを考える活動 第5学年～ SNSによるいじめの場面を扱い、自分が被害を受けたときに適切な対応をするためには、どのようなことが大切なのかを考える活動 第6学年～ インターネットで情報を発信する場面を扱い、他人のプライバシー権を侵害しないためには、どのようなことが大切なのかを考える活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 「こくばんとうばん」において、登場人物の続きの言葉を考えたり、にっこりと笑った役になって演じたりするなど、グループでの話し合いや役割演技を通して、考えを広げたり、深めたりする活動 第2学年～ 「あいさつのしかた」において、登場人物になって、挨拶をしてみたり、やってみてどう思ったのか、友達と話し合ったりするなど、グループでの話し合いや役割演技を通して、考えを広げたり、深めたりする活動 第3学年～ 「新聞係」において、新聞係の問題点について考え、発表したり、みんなから喜ばれる新聞を作るための解決方法を話し合ったりするなど、考えを広げたり、深めたりする活動 第4学年～ 「プロレスごっこ」において、クラスの問題点について考え、発表したり、自分がクラスの一員だったら、どうしたいかを発表したりするなど、考えを広げたり、深めたりする活動 第5学年～ 「図書館はだれのもの」において、自分が「わたし」だったら、どうするかについて話し合ったり、身のまわりにあるきまりは、何のために作られているのかを考えたりするなど、考えを広げたり、深めたりする活動 第6学年～ 「〇〇しながら」において、複数のことを同時にやって失敗した際の問題点について考えたり、事例の共通点、異なる点、問題の重さについて話し合ったりするなど、考えを広げたり、深めたりする活動 ○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 ・言語活動については、各学年に、児童が話し合ったり、自分の考えをまとめたりするための「学習のてびき」に「考えよう」「深めよう」を配置し、児童が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができる工夫 ・問題解決的な学習については、各学年に、児童が自ら課題を見つけ、友達と議論を重ねながら課題の解決方法を見いだすための「学習のてびき」を配置し、自分との関わりで道徳的価値を捉え、自分なりに発展させていくことへの思いや課題が培われるような工夫 ・体験的な学習については、各学年に、演じたり、話し合ったりしながら自分の考えを発表する「やってみよう」を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるような工夫
使用上の配慮等	○ 各学年に、道徳の学びへの意識を高めながら、見通しをもって学習に取り組める「学びのガイダンス」や各教材末に学習を振り返る「学びチェック」欄を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 各学年に、「道徳ではこんな学び方をするよ」や教材での学びをさらに深め充実させる「タブレットを学習に生かそう」を配置し、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての児童が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントやカラーユニバーサルデザインに配慮する（全学年）とともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、「まなびリンク」を活用できるようにする（全学年）など、使用上の便宜が図られている。
その他	※ 小学校用教科書目録（令和6年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

様式 3

番 号 観 点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教 科 書 名
	38・光村	第1学年 第2学年 第3学年 第4学年 第5学年 第6学年	道徳・114 道徳・214 道徳・314 道徳・414 道徳・514 道徳・614	どうとく1 きみがいちばんひかるとき どうとく2 きみがいちばんひかるとき どうとく3 きみがいちばんひかるとき 道徳4 きみがいちばんひかるとき 道徳5 きみがいちばんひかるとき 道徳6 きみがいちばんひかるとき
取 扱 内 容 〔学 習 指 導 要 領 の 総 則 及 び 各 教 科 、 各 学 年 の 目 標 、 内 容 等 〕 、 内 容 の 構 成 ・ 排 列	○ 生命の尊厳については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 生まれたばかりの赤ちゃんなどを基に、生きることのすばらしさを知り、生命を大切にすることについて考える活動 第2学年～ 小さな頃と比べて、変わってきたと思うところを基に、生きることのすばらしさを知り、生命を大切にすることについて考える活動 第3学年～ モンシロチョウが森の池に落ちたことなどを基に、生命の尊さを知り、生命あるものを大切にすることについて考える活動 第4学年～ おなかの中の小さな命などを基に、生命の尊さを知り、生命あるものを大切にすることについて考える活動 第5学年～ 精一杯生きることなどを基に、生命はつながりの中にあるかけがえのないものであり、生命を尊重することの大切さについて考える活動 第6学年～ 祖母をみとったことなどを基に、生命はつながりの中にあるかけがえのないものであり、生命を尊重することの大切さについて考える活動 ○ 自然については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 草花や動物の世話をしたことなどを基に、身近な自然や動植物に優しい心で接することの大切さについて考える活動 第2学年～ ダングムシを飼うことなどを基に、身近な自然や動植物に優しい心で接することの大切さについて考える活動 第3学年～ 都会で、トンボを守る取組などを基に、自然のすばらしさや不思議さを感じ取り、自然や動植物を大切にすることについて考える活動 第4学年～ ウミガメの飼育と観察などを基に、自然のすばらしさや不思議さを感じ取り、自然や動植物を大切にすることについて考える活動 第5学年～ 「自然はすごいな、素晴らしい」と思ったことなどを基に、自然の偉大さを知り、自然環境を大切にすることについて考える活動 第6学年～ プラスチックゴミが自然に与える影響などを基に、自然の偉大さを知り、自然環境を大切にすることについて考える活動 ○ 伝統と文化については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 日本や、住んでいるところに伝わる遊びなどを基に、我が国や郷土の文化と生活に親しみ、愛着をもつことの大切さについて考える活動 第2学年～ 食べたことのあるおせちなどを基に、我が国や郷土の文化と生活に親しみ、愛着をもつことの大切さについて考える活動 第3学年～ ふろしきのいろいろな包み方などを基に、我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、国や郷土を愛する心をもつことの大切さについて考える活動 第4学年～ ふるさとの伝統的な行事などを基に、我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、国や郷土を愛する心をもつことの大切さについて考える活動 第5学年～ 地域のよさなどを基に、我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、先人の努力を知り、国や郷土を愛する心をもつことの大切さについて考える活動 第6学年～ 日本のよさなどを基に、我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、先人の努力を知り、国や郷土を愛する心をもつことの大切さについて考える活動 ○ 情報化への対応については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 休み時間の場面を扱い、みんなで使う物や場所の約束や決まりを守るためには、どのようなことが大切なのかを考える活動 第2学年～ 図工の時間の場面を扱い、誰かが作ったものを扱うときには、どのようなこ			

	とが大切なのかを考える活動 第3学年～ 夜寝るときに、ゲームをする場面を扱い、「やめられない」を断ち切るためには、どのようなことが大切なのかを考える活動 第4学年～ 公園に行く場面を扱い、お互いが分かり合うためには、どのようなことが大切なのかを考える活動 第5学年～ インターネットを利用する場面を扱い、インターネットの特性を踏まえたマナーを守るためには、どのようなことが大切なのかを考える活動 第6学年～ スマートフォンで写真を投稿する場面を扱い、安心してインターネットを利用するためには、どのようなことが大切なのかを考える活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 「二つのことり」において、小鳥の話したことを考えたり、演じたり、演じているのを見たりした後、思ったことを話したりするなど、グループでの話合いや役割演技を通して、考えを広げたり、深めたりする活動 第2学年～ 「けんかをしたけど」において、好きなことを理由と一緒に伝えたり、伝え合ってよかったことを出し合ったりするなど、グループでの話合いや役割演技を通して、考えを広げたり、深めたりする活動 第3学年～ 「なおとからのしつもん」において、なおとの質問に、どう答えるかを考えたり、公平に接することができる人が大切にしていることを話し合ったりするなど、考えを広げたり、深めたりする活動 第4学年～ 「みんな同じだったら」において、自分の特徴は、どのようなところか、マップを使って書き出したり、自分のよいところを書いてもらったりするなど、考えを広げたり、深めたりする活動 第5学年～ 「みんな、おかしいよ！」において、登場人物の言い分を整理したり、相手と理解し合うためには、どのようなことが大切なのかを考えたりするなど、考えを広げたり、深めたりする活動 第6学年～ 「子ども会のキャンプ」において、謝る人と、謝られる人を交代して、言葉をかけ合ったり、言葉をかけ合って、よかったことを話し合ったりするなど、考えを広げたり、深めたりする活動 ○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 ・言語活動については、各学年に、児童から考えを引き出し深めていくさまざまな手立て「道徳で使う言葉」「考えよう・話し合おう」を配置し、児童が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができる工夫 ・問題解決的な学習については、各学年に、学んだことを自分に引き寄せて考えたり、問題を解決するためにはどうすればよいかを考えたりするための「学習のてびき」を配置し、自分との関わりで道徳的価値を捉え、自分なりに発展させていくことへの思いや課題が培われるような工夫 ・体験的な学習については、各学年に、演じている人の表情やしぐさをよく見て、言っていることをよく聞いて、考える「演じて考えよう」を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるような工夫
使用上の配慮等	○ 各学年に、期待感をもって学習に向かい、1年間の学習を見通すことができるよう「道徳みちあんない」や巻末に、1時間ごとの振り返りを記録する折込「学びの記録」を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 各学年に、楽しみながら考えることができるよう「なんだろうなんだろう」や、教材を通して何を学ぶかを意識できるよう「学びのテーマ」を配置し、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての児童が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントやカラーユニバーサルデザインに配慮する（全学年）とともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、デジタルコンテンツを活用できるようにする（全学年）など、使用上の便宜が図られている。
その他	※ 小学校用教科書目録（令和6年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

様式 3

番 号 観 点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教 科 書 名
	116・日文	第 1 学年 第 2 学年 第 3 学年 第 4 学年 第 5 学年 第 6 学年	道徳・115、道徳・116 道徳・215、道徳・216 道徳・315、道徳・316 道徳・415、道徳・416 道徳・515、道徳・516 道徳・615、道徳・616	しょうがどうとく いきるちから 1、どうとくノート 小学どうとく 生きる力 2、どうとくノート 小学どうとく 生きる力 3、どうとくノート 小学道徳 生きる力 4、道徳ノート 小学道徳 生きる力 5、道徳ノート 小学道徳 生きる力 6、道徳ノート
取 扱 内 容 〔学 習 指 導 要 領 の 総 則 及 び 各 教 科 、 各 学 年 の 目 標 、 内 容 等〕 、 内 容 の 構 成 ・ 排 列	○ 生命の尊厳については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第 1 学年～ お母さんのお腹の中の赤ちゃんなどを基に、生きることのすばらしさを知り、生命を大切にすることについて考える活動 第 2 学年～ 交通事故でのけがなどを基に、生きることのすばらしさを知り、生命を大切にすることについて考える活動 第 3 学年～ 子どもの命を大切に思う親の気持ちなどを基に、生命の尊さを知り、生命あるものを大切にすることについて考える活動 第 4 学年～ 命に向き合ってきた医師の生き方などを基に、生命の尊さを知り、生命あるものを大切にすることについて考える活動 第 5 学年～ 命を守るために懸命に努力した人などを基に、生命はつながりの中にあるかけがえのないものであり、生命を尊重することの大切さについて考える活動 第 6 学年～ 白血病で亡くなった男の子の話などを基に、生命はつながりの中にあるかけがえのないものであり、生命を尊重することの大切さについて考える活動			
	○ 自然については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第 1 学年～ つばめの子育ての話などを基に、身近な自然や動植物に優しい心で接することの大切さについて考える活動 第 2 学年～ 自分が生き物を観察したときのことなどを基に、身近な自然や動植物に優しい心で接することの大切さについて考える活動 第 3 学年～ 水やりをさぼってかれたサルビアなどを基に、自然のすばらしさや不思議さを感じ取り、自然や動植物を大切にすることについて考える活動 第 4 学年～ 道端の小さな草たちなどを基に、自然のすばらしさや不思議さを感じ取り、自然や動植物を大切にすることについて考える活動 第 5 学年～ 自然を大切にしようと思った経験などを基に、自然の偉大さを知り、自然環境を大切にすることについて考える活動 第 6 学年～ 環境保護活動に尽力した人の生き方などを基に、自然の偉大さを知り、自然環境を大切にすることについて考える活動			
○ 伝統と文化については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第 1 学年～ 日本の昔から伝わるお菓子などを基に、我が国や郷土の文化と生活に親しみ、愛着をもつことの大切さについて考える活動 第 2 学年～ 長岡の大花火にこめられた思いや願いなどを基に、我が国や郷土の文化と生活に親しみ、愛着をもつことの大切さについて考える活動 第 3 学年～ 東京産の野菜などを基に、我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、国や郷土を愛する心をもつことの大切さについて考える活動 第 4 学年～ 江戸時代の浮世絵などを基に、我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、国や郷土を愛する心をもつことの大切さについて考える活動 第 5 学年～ 和太鼓職人の思いなどを基に、我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、先人の努力を知り、国や郷土を愛する心をもつことの大切さについて考える活動 第 6 学年～ 日本の伝統的な作法などを基に、我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、先人の努力を知り、国や郷土を愛する心をもつことの大切さについて考える活動				
○ 情報化への対応については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第 1 学年～ 羊飼いが嘘をついて楽しむ場面を扱い、自分のことを信じてもらうためには、どのようなことが大切なのかを考える活動 第 2 学年～ 夜遅くまで動画を観て、寝坊した場面を扱い、規則正しい生活を送るために				

	は、どのようなことが大切なのかを考える活動 第3学年～ 約束を破ってゲームをする場面を扱い、タブレットなどを正しく使うためには、どのようなことが大切なのかを考える活動 第4学年～ インターネットでのやり取りの場面を扱い、上手にやり取りするためには、どのようなことが大切なのかを考える活動 第5学年～ 電話で友達と約束した場面を扱い、友達とのすれ違いが起これないようにするためには、どのようなことが大切なのかを考える活動 第6学年～ 携帯電話を夜中まで使う場面を扱い、毎日同じリズムで生活するためには、どのようなことが大切なのかを考える活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 「あいさつのあるいちにち」において、互いに挨拶をするときの気持ちを話し合ったり、挨拶をするときと、しないときを演じたりするなど、グループでの話し合いや役割演技を通して、考えを広げたり、深めたりする活動 第2学年～ 「あぶないよ」において、自分の安全のために心掛けることを考えたり、知らない人に車に乗るように言われた場面を演じたりするなど、グループでの話し合いや役割演技を通して、考えを広げたり、深めたりする活動 第3学年～ 「これ、全部東京産」において、東京の味を守り続けている店員の思いを考えたり、インターネットで地域で大切にしていることを調べたりするなど、考えを広げたり、深めたりする活動 第4学年～ 「つくればいいでしょ」において、自分の長所を伸ばすために取り組むことを考えたり、自分のよさを友達や家族に聞いたりするなど、考えを広げたり、深めたりする活動 第5学年～ 「マンガ家手塚治虫」において、手塚さんがマンガ家を続けられた思いを考えたり、自分のよさを伸ばすために大切にすることを考えたりするなど、考えを広げたり、深めたりする活動 第6学年～ 「わたしのせいじゃない」において、いじめを断ち切るための心のもち方を考えたり、いじめを止めるために、誰に話しかけるべきかを話し合ったりするなど、考えを広げたり、深めたりする活動 ○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 ・言語活動については、各学年に、児童が協働的な学びを進めるための「話す」、「聞く」、「書く」などの学習方法を紹介する「道徳の学び方」を配置し、児童が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育てることができる工夫 ・問題解決的な学習については、各学年に、問題をつかむ活動や考える活動を促す発問など、児童の思考と対話を促した上で学習の参考となる「ぐっと深める」を配置し、自分との関わりで道徳的価値を捉え、自分なりに発展させていくことへの思いや課題が培われるような工夫 ・体験的な学習については、各学年に、役割演技や動作化を通して思考を深める「ぐっと深める」を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるような工夫
使用上の配慮等	○ 各学年に、学習意欲を高め、主体的な学習態度の育成につなげる「オリエンテーション」や道徳の時間での学びを深める「学期ごとの振り返りページ」を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 各学年に、学びを広げ、深める「コラム心のベンチ」や「導入の発問例」、「考えてみよう」、「見つめよう・生かそう」の3つの発問例を配置し、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての児童が学習しやすいよう、カラーユニバーサルデザインや漢字の振り仮名に配慮する（全学年）とともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、「教科書QRコンテンツ」を活用できるようにする（全学年）など、使用上の便宜が図られている。
その他	※ 小学校用教科書目録（令和6年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

様式 3

観 点	番 号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教 科 書 名
		208・光文	第1学年 第2学年 第3学年 第4学年 第5学年 第6学年	道徳・117 道徳・217 道徳・317 道徳・417 道徳・517 道徳・617	しょうがく どうとく ゆたかな ころ 1ねん 小学 どうとく ゆたかな ころ 2年 小学どうとく ゆたかな心 3年 小学道徳 ゆたかな心 4年 小学道徳 ゆたかな心 5年 小学道徳 ゆたかな心 6年
取 扱 内 容 〔学 習 指 導 要 領 の 総 則 及 び 各 教 科 、 各 学 年 の 目 標 、 内 容 等 〕 、 内 容 の 構 成 ・ 排 列	○ 生命の尊厳については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 身体の不自由な動物の子育てなどを基に、生きることのすばらしさを知り、生命を大切にすることについて考える活動 第2学年～ 自分や家族の病気やけがなどを基に、生きることのすばらしさを知り、生命を大切にすることについて考える活動 第3学年～ 自身の先祖について考えることなどを基に、生命の尊さを知り、生命あるものを大切にすることについて考える活動 第4学年～ 院内学級の児童が書いた「命」の詩などを基に、生命の尊さを知り、生命あるものを大切にすることについて考える活動 第5学年～ 動物の命を守る人の話などを基に、生命はつながりの中にあるかけがえのないものであり、生命を尊重することの大切さについて考える活動 第6学年～ 事故で息子を失った親の話などを基に、生命はつながりの中にあるかけがえのないものであり、生命を尊重することの大切さについて考える活動				
	○ 自然については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 動物と触れ合ったときの気持ちなどを基に、身近な自然や動植物に優しい心で接することの大切さについて考える活動 第2学年～ 身近な植物の様子の移り変わりなどを基に、身近な自然や動植物に優しい心で接することの大切さについて考える活動 第3学年～ 絶滅の危機にある動物などを基に、自然のすばらしさや不思議さを感じ取り、自然や動植物を大切にすることについて考える活動 第4学年～ 北海道の自然とエゾリスの関係などを基に、自然のすばらしさや不思議さを感じ取り、自然や動植物を大切にすることについて考える活動 第5学年～ 国立公園の自然を守る取組などを基に、自然の偉大さを知り、自然環境を大切にすることについて考える活動 第6学年～ 北海道のエゾマツなどを基に、自然の偉大さを知り、自然環境を大切にすることについて考える活動				
	○ 伝統と文化については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 紅葉狩りの経験などを基に、我が国や郷土の文化と生活に親しみ、愛着をもつことの大切さについて考える活動 第2学年～ ふるさとで作られた食物などを基に、我が国や郷土の文化と生活に親しみ、愛着をもつことの大切さについて考える活動 第3学年～ 住んでいる土地の伝統行事などを基に、我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、国や郷土を愛する心をもつことの大切さについて考える活動 第4学年～ 自分の町の誇りとなる物などを基に、我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、国や郷土を愛する心をもつことの大切さについて考える活動 第5学年～ 市町村章などを基に、我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、先人の努力を知り、国や郷土を愛する心をもつことの大切さについて考える活動 第6学年～ 熊本城の復旧などを基に、我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、先人の努力を知り、国や郷土を愛する心をもつことの大切さについて考える活動				
	○ 情報化への対応については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ スマホやゲーム機を使う場面を扱い、スマホやタブレットを使うためには、どのようなことが大切なのかを考える活動 第2学年～ タブレットを使うときの母親との約束の場面を扱い、安全に気持ちよくタブ				

	レットを使うためには、どのようなことが大切なのかを考える活動 第3学年～ インターネットの情報について判断する場面を扱い、情報と上手に付き合うためには、どのようなことが大切なのかを考える活動 第4学年～ オンラインゲームでいらいらしてしまう場面を扱い、互いが気持ちよく交流するためには、どのようなことが大切なのかを考える活動 第5学年～ 権利について考える場面を扱い、他の人の権利を尊重するためには、どのようなことが大切なのかを考える活動 第6学年～ スマホの使い方に関する両親とのやり取りの場面を扱い、スマホを上手に使うためには、どのようなことが大切なのかを考える活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 「あいさつでげんきに」において、友だちと気持ちをこめた挨拶の練習をしたり、一言付け加えた挨拶をしたりするなど、グループでの話合いや役割演技を通して、考えを広げたり、深めたりする活動 第2学年～ 「あいさつがきらいな王様」において、会話例を真似したり、合い言葉を意識して会話をしたりするなど、グループでの話合いや役割演技を通して、考えを広げたり、深めたりする活動 第3学年～ 「ドンマイ！ドンマイ！」において、日直の仕事を忘れた友だちへ伝える言葉を考えたり、相手の気持ちを考えた言葉を伝えたりするなど、考えを広げたり、深めたりする活動 第4学年～ 「貝がら」において、サッカーの試合で負けた原因について友だちへ伝える言葉を考えたり、相手の気持ちを考えた言葉を伝えたりするなど、考えを広げたり、深めたりする活動 第5学年～ 「みんなの劇」において、友だちから遊びに誘われたときの断り方について考えたり、相手の気持ちを考えながら自分の思いを伝えたりするなど、考えを広げたり、深めたりする活動 第6学年～ 「温かいおまんじゅう」において、友だちから宿題を見せてと頼まれたときの断り方について考えたり、相手の気持ちを考えながら自分の思いを伝えたりするなど、考えを広げたり、深めたりする活動 ○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 ・言語活動については、各学年に、書いてまとめることによって理解を深めたり、整理したりするための道徳のノート例として「まとめよう・ふりかえろう」を配置し、児童が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができる工夫 ・問題解決的な学習については、各学年に、他者の見方・考え方を確かめたり、ものごとを多面的・多角的に考えたりするための「話し合って考えてみよう」を配置し、自分との関わりで道徳的価値を捉え、自分なりに発展させていくことへの思いや課題が培われるような工夫 ・体験的な学習については、各学年に、コミュニケーションスキルを高めるための体験的な活動を行う「みんなでやってみよう！」を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるような工夫
使用上の配慮等	○ 各学年に、1年間の道徳の学習を振り返るとともに、次の学年に向けてのエールとなるような贈る言葉「ことばのたからもの」や巻末に児童が自らの学習状況を確認する手立てとしての「学びの足あと」を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 各学年に、「道徳の時間は、こんな時間です」や考えを広めたり、深めたりする「考えよう（展開）」「まとめよう（終末）」を配置し、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての児童が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインや漢字に振り仮名を付けるなどの配慮をする（全学年）とともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、デジタルコンテンツを活用できるようにする（全学年）など、使用上の便宜が図られている。
その他	※ 小学校用教科書目録（令和6年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

様式 3

番 号 観 点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教 科 書 名
	224・学研	第 1 学年 第 2 学年 第 3 学年 第 4 学年 第 5 学年 第 6 学年	道徳・118 道徳・218 道徳・318 道徳・418 道徳・518 道徳・618	新版 みんなのどうとく 1 新版 みんなのどうとく 2 新版 みんなのどうとく 3 新版 みんなの道徳 4 新版 みんなの道徳 5 新版 みんなの道徳 6
取 扱 内 容 〔 学 習 指 導 要 領 の 総 則 及 び 各 教 科 、 各 学 年 の 目 標 、 内 容 等 〕 、 内 容 の 構 成 ・ 排 列	○ 命の尊厳については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第 1 学年～ 実物大の赤ちゃんの写真などを基に、生きることのすばらしさを知り、生命を大切にすることについて考える活動 第 2 学年～ 植物の成長などを基に、生きることのすばらしさを知り、生命を大切にすることについて考える活動 第 3 学年～ 闘病中の児童とその家族の思いなどを基に、生命の尊さを知り、生命あるものを大切にすることについて考える活動 第 4 学年～ 重い病気を患っている子どもの生き方などを基に、生命の尊さを知り、生命あるものを大切にすることについて考える活動 第 5 学年～ 児童が書いた「命」の詩を基に、生命はつながりの中にあるかけがえのないものであり、生命を尊重することの大切さについて考える活動 第 6 学年～ 天国に旅立った祖父の思いなどを基に、生命はつながりの中にあるかけがえのないものであり、生命を尊重することの大切さについて考える活動			
	○ 自然については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第 1 学年～ 昆虫を飼育する体験などを基に、身近な自然や動植物に優しい心で接することの大切さについて考える活動 第 2 学年～ 動物園のキリンの死などを基に、身近な自然や動植物に優しい心で接することの大切さについて考える活動 第 3 学年～ 山火事を止めようとした鳥の行動などを基に、自然のすばらしさや不思議さを感じ取り、自然や動植物を大切にすることについて考える活動 第 4 学年～ ウミガメの成長などを基に、自然のすばらしさや不思議さを感じ取り、自然や動植物を大切にすることについて考える活動 第 5 学年～ 病気の動物を支える活動などを基に、自然の偉大さを知り、自然環境を大切にすることについて考える活動 第 6 学年～ 清掃登山活動などを基に、自然の偉大さを知り、自然環境を大切にすることについて考える活動			
	○ 伝統と文化については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第 1 学年～ 正月の過ごし方などを基に、我が国や郷土の文化と生活に親しみ、愛着をもつことの大切さについて考える活動 第 2 学年～ 自分の町の好きなところなどを基に、我が国や郷土の文化と生活に親しみ、愛着をもつことの大切さについて考える活動 第 3 学年～ 大地震からの復興などを基に、我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、国や郷土を愛する心をもつことの大切さについて考える活動 第 4 学年～ 折り紙などを基に、我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、国や郷土を愛する心をもつことの大切さについて考える活動 第 5 学年～ 江戸時代の生活などを基に、我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、先人の努力を知り、国や郷土を愛する心をもつことの大切さについて考える活動 第 6 学年～ 伝統的な祭などを基に、我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、先人の努力を知り、国や郷土を愛する心をもつことの大切さについて考える活動			
	○ 情報化への対応については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第 1 学年～ 掲示板の内容を書き換える場面を扱い、元の情報を変えて困らせないためには、どのようなことが大切なのかを考える活動 第 2 学年～ 学級新聞に間違った情報を書いて友達から怒られた場面を扱い、情報を発信			

	するためには、どのようなことが大切なのかを考える活動 第3学年～ 家のパソコン使用時の約束を破った場面を扱い、インターネットを安全に使うためには、どのようなことが大切なのかを考える活動 第4学年～ あるサイトに自分の名前を入力してしまう場面を扱い、自分の情報を守るためには、どのようなことが大切なのかを考える活動 第5学年～ SNSに写真をアップロードする場面を扱い、情報を発信する際には、どのようなことが大切なのかを考える活動 第6学年～ SNSのチャットで友達とやりとりする場面を扱い、情報社会でのコミュニケーションには、どのようなことが大切なのかを考える活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 「金のおのぎんのおの」において、話の続きを考えたり、登場人物同士が話す場面を演じたりするなど、グループでの話し合いや役割演技を通して、考えを広げたり、深めたりする活動 第2学年～ 「およげないりすさん」において、登場人物になって、問題を相談する場面を演じたり、演じてみてどう思ったのかを友達と話し合ったりするなど、グループでの話し合いや役割演技を通して、考えを広げたり、深めたりする活動 第3学年～ 「みんなの学級会」において、出された意見のよさについて考えたり、異なる意見が出たときの話し合いをまとめるために大切にすることを話し合ったりするなど、考えを広げたり、深めたりする活動 第4学年～ 「クラスたいこう全員リレー」において、登場人物の気持ちになって考えたり、自分がこの場にいたら、どんな発言をするのかを発表したりするなど、考えを広げたり、深めたりする活動 第5学年～ 「日本の『まん画の神様』」において、自分の長所を見つけたり伸ばしたりするために大切なことを考えたり、考えたことを話し合ったり、そこから考えたことを書いたりするなど、考えを広げたり、深めたりする活動 第6学年～ 「チョモランマ清掃登山隊」において、自然と共存するために、どんなことを大切にしたいか考えて書いたり、書いたものを読み合い、感じたことを話し合ったりするなど、考えを広げたり、深めたりする活動 ○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 ・言語活動については、各学年に、児童が自由に意見や感想を記録できる記入欄や、考えを深めるきっかけとなる問いとして「考えよう」を配置し、児童が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができる工夫 ・問題解決的な学習については、各学年に、児童が思考を整理するための三つのステップを通した学習の流れを提案する「深めよう」を配置し、自分との関わりで道徳的価値を捉え、自分なりに発展させていくことへの思いや課題が培われるような工夫 ・体験的な学習については、各学年に、自分につなげて考えたり、話題を広げたりする「心のパスポート」を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるような工夫
使用上の配慮等	○ 各学年に、自分を取り巻く社会へ意識を向けながら、自分自身とのつながりを探る「つながる私広がる私」や巻末に1年間の学びや自らの成長を振り返る「つなげよう広げよう」を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 各学年に、「道徳の学習が始まるよ」や児童が自分の考えを深めるきっかけになるマークボックスを配置し、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての児童が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントやカラーユニバーサルデザインに配慮する（全学年）とともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、デジタルコンテンツを活用できるようにする（全学年）など、使用上の便宜が図られている。
その他	※ 小学校用教科書目録（令和6年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

様式 4

＜「特別の教科 道徳」の具体的な調査項目＞

◎調査項目

- ① 各学年の内容項目の分量と総ページ数
- ② いじめの問題に関する教材数
- ③ 北海道の地域素材を掲載している教材数

◎調査項目にした理由

- ① 道徳科の指導に当たっては、全ての内容項目が調和的に関わり合いながら、児童の道徳性が養われるように工夫することが求められていることから、内容項目ごとや全体としての分量について把握する必要があるため。
- ② 現実の困難な問題に主体的に対処することができる実効性ある力を育成することが求められていることから、いじめの問題への対応に関する教材の掲載の状況について把握する必要があるため。
- ③ 児童にとって身近なものに感じられ、教材に親しみながら、ねらいとする道徳的価値について考えを深めることができる地域素材の開発や活用が求められていることから、北海道に関わる地域素材の掲載の状況について把握する必要があるため。

様式 5

※調査項目の数字が網掛けになっている項目は、様式6にデータを掲載していることを示す。

調査項目				発行者	東書						教出					
					1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
①	各 学 年 の 内 容 項 目 の 分 量	A 主として自分自身 に関すること	ページ数	39	44	32	42	40	35	47	45	37	42	46	33	
			全体に占める割合	27%	27%	18%	23%	21%	18%	29%	28%	22%	25%	25%	18%	
		B 主として人との関 わりに関すること	ページ数	35	37	47	38	37	34	34	37	39	41	28	41	
			全体に占める割合	24%	23%	26%	21%	20%	17%	21%	23%	23%	24%	15%	22%	
		C 主として集団や社会 との関わりに関すること	ページ数	30	36	47	46	56	57	47	48	51	44	62	57	
			全体に占める割合	21%	22%	26%	26%	30%	29%	29%	30%	30%	26%	34%	31%	
		D 主として生命や自然、崇高な ものとの関わりに関すること	ページ数	23	26	33	33	34	47	18	16	25	25	28	37	
			全体に占める割合	16%	16%	19%	18%	18%	24%	11%	10%	15%	15%	15%	20%	
		E 複数の内容項目が含 まれている教材等（※1）	ページ数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	
			全体に占める割合	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	0%
		F 内容項目以外の記 載等	ページ数	19	19	19	21	21	23	15	15	17	17	17	17	
			全体に占める割合	13%	12%	11%	12%	11%	12%	9%	9%	10%	10%	9%	9%	
		総ページ数			146	162	178	180	188	196	161	161	169	169	185	185
		前回の総ページ数			128	146	168	172	184	200	134	142	150	162	166	170
		増減			14%	11%	6%	5%	2%	-2%	20%	13%	13%	4%	11%	9%
②	いじめの問題に関する教材数（※2）			8	5	6	4	4	4	4	4	6	2	4	5	
③	北海道の地域素材を掲載している教材数			0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	2	2	

調査項目				発行者	光村						日文					
					1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
①	各 学 年 の 内 容 項 目 の 分 量	A 主として自分自身 に関すること	ページ数	33	43	42	42	47	40	55	61	53	55	49	58	
			全体に占める割合	24%	26%	23%	22%	24%	19%	28%	28%	23%	23%	21%	24%	
		B 主として人との関 わりに関すること	ページ数	28	34	43	43	44	44	38	45	56	52	56	51	
			全体に占める割合	21%	20%	23%	22%	22%	21%	19%	21%	24%	22%	24%	21%	
		C 主として集団や社会 との関わりに関すること	ページ数	40	41	46	46	39	58	61	68	76	79	69	73	
			全体に占める割合	30%	25%	25%	24%	20%	27%	31%	31%	33%	33%	30%	30%	
		D 主として生命や自然、崇高な ものとの関わりに関すること	ページ数	19	26	22	29	35	41	25	24	29	32	40	40	
			全体に占める割合	14%	16%	12%	15%	18%	19%	13%	11%	13%	14%	17%	17%	
		E 複数の内容項目が含ま れている教材等（※1）	ページ数	3	11	18	19	22	20	0	0	0	0	0	0	
			全体に占める割合	2%	7%	10%	10%	11%	9%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
		F 内容項目以外の記 載等	ページ数	12	12	14	14	10	12	21	18	18	18	18	18	
			全体に占める割合	9%	7%	8%	7%	5%	6%	11%	8%	8%	8%	8%	8%	
		総ページ数			135	167	185	193	197	215	200	216	232	236	232	240
		前回の総ページ数			145	169	185	193	205	221	196	212	224	232	232	232
		増減			-7%	-1%	0%	0%	-4%	-3%	2%	2%	4%	2%	0%	3%
②	いじめの問題に関する教材数（※2）			6	6	8	5	7	5	14	14	16	16	14	18	
③	北海道の地域素材を掲載している教材数			0	0	0	2	1	2	0	1	1	2	1	1	

調査項目				発行者	光文						学研					
					1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
①	各 学 年 の 内 容 項 目 の 分 量	A 主として自分自身 に関すること	ページ数	41	40	42	36	38	40	42	47	36	37	36	36	
			全体に占める割合	25%	22%	23%	19%	20%	21%	30%	31%	23%	22%	22%	21%	
		B 主として人との関 わりに関すること	ページ数	24	40	44	48	36	36	31	30	36	43	31	38	
			全体に占める割合	15%	22%	24%	25%	19%	19%	22%	20%	23%	26%	19%	22%	
		C 主として集団や社会 との関わりに関すること	ページ数	50	49	49	58	59	60	30	37	42	45	46	49	
			全体に占める割合	31%	28%	26%	31%	30%	31%	21%	25%	27%	27%	28%	29%	
		D 主として生命や自然、崇高な ものとの関わりに関すること	ページ数	24	26	28	25	38	35	24	21	29	26	34	32	
			全体に占める割合	15%	15%	15%	13%	20%	18%	17%	14%	18%	16%	21%	19%	
		E 複数の内容項目が含ま れている教材等（※1）	ページ数	12	12	12	12	12	12	0	0	0	0	0	0	
			全体に占める割合	7%	7%	6%	6%	6%	6%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
		F 内容項目以外の記 載等	ページ数	11	11	11	11	11	11	15	15	15	15	15	15	
			全体に占める割合	7%	6%	6%	6%	6%	6%	11%	11%	10%	10%	9%	9%	
		総ページ数			162	178	186	190	194	194	142	150	158	166	162	170
		前回の総ページ数			158	166	182	186	190	194	138	142	154	158	166	170
		増減			3%	7%	2%	2%	2%	0%	3%	6%	3%	5%	-2%	0%
②	いじめの問題に関する教材数（※2）			7	5	9	7	6	2	13	8	9	8	8	7	
③	北海道の地域素材を掲載している教材数			0	0	1	1	2	2	1	0	0	2	0	1	

※日文は本冊と別冊の二分冊で構成されている。

（※1）複数の内容項目が含まれている教材等は、編修趣意書、内容解説資料及び教科書巻末に示されている教材等を対象とした。

（※2）いじめの問題に関する教材数は、編修趣意書及び内容解説資料に示されている教材を対象とし、教材後のコラムを含み、1教材とした。

様式 6

様式 5 の調査項目③「北海道の地域素材」の具体的な内容

者	学年	教科書の構成（該当ページ）	取扱い方	タイトル・主な内容
東書	5	ペンギンは水の中を飛ぶ鳥だ（P32）	地図	北海道
		「ありがとう上手」に（P138）	地名	洞爺湖おんせん
教出	4	日本の「世界自然遺産」（P121）	文・写真	知床（北海道）
		タイガとココア（P147～150）	本文・写真	釧路市動物園、アムールトラ
	5	よさこいソーラン祭り（P20～23）	本文・写真	札幌市、よさこいソーラン祭り
		天から送られた手紙（P168～171）	本文・写真	札幌にある大学、十勝岳
	6	究極の理想「平和」を求めて（P122～125）	本文	札幌農学校
		北海道の名づけ親－松浦武四郎－（P151～154）	本文・写真	松浦武四郎、蝦夷地開拓、アイヌの人たち
光村	4	花さき山（P149）	本文	アイヌ、北海道
		日本に伝わる「祭り」（P182）	本文・写真	北海道、さっぽろ雪まつり
	5	宇宙から見たもの（P64）	本文・写真	知床半島
	6	命の旅（P70）	本文	北海道、知床
		「働く」って、どういうこと？（P192）	写真	札幌、釧路
日文	2	心のベンチ 日本のいろいろなおまつり（P53）	文・写真	さっぽろ雪まつり
	3	心のベンチ さいがいにそなえて（P136）	写真	北海道胆振東部地しん
	4	交流学习の前に（P74）	本文	北海道にある姉妹校の美雪小学校
		聞かせて、君の声を！（P130）	本文・地図	北海道釧路湿原
	5	美しい夢－ゆめぴりか－（P170～173）	本文・写真	旭川市、ゆめぴりか、上川農業試験場
	6	地球を一周歩いた男－伊能忠敬－（P46～49）	本文・図	蝦夷地（現在の北海道）、日本地図
光文	3	かこから今、そして未来へ（P64）	文・写真	北海道釧路市（まりもまつり）
	4	しぜんを守るエゾリス（P136）	本文・写真	北海道の海岸沿いのカシワの林、エゾリス
	5	シンボルマークにこめられたものは（P50）	文・写真	町のマーク（北海道新冠町）
		世界の文化遺産（P83）	本文	北海道・北東北の縄文遺跡群
	6	夢に向かって－三浦雄一郎－（P14）	本文・写真	南極大陸最高峰ビンソン・マッシフでのスキー滑降（1983年）
		自然のゆりかご（P62）	本文	エゾマツ・原生林
学研	1	きれいだね（P99）	写真	青空にかかるにじ・上川郡上川町
	4	折り紙で広がる世界（P25）	写真	ドラゴン・折り紙作家有澤悠河さん 札幌市出身
		未来へ残したい、かけがえのない自然（P87）	写真	知床
	6	市民に愛される動物園を目指して（P124～127）	本文・写真	旭山動物園・旭川市